



# あすもりサポーター通信

## 第3回北海道の森づくり交流会 報告



2013年1月26日（土）、札幌会場をはじめ、全道7ヶ所の会場をTV会議ネットワークで結んで開催されました。遠くは函館市や占冠町から参加されたみなさん、早くから来場して展示された助成団体のみなさん、ご来場ありがとうございました。札幌は100名、全道では170名の方々に参加いただき、3回目の交流会を終了することができました。

第一部の特別講演は京都よりお越しいただいた中川重年先生に、「森づくりの参加のデザインの事例と実践」についてパワーポイントを使ってお話しいただきました。

札幌会場はコープさっぽろ北12条店2階の会議室で、100名の熱気で酸欠になるのでは…と心配になるほどでした。



里山再生の方法は地域と関わる人によってちがってくると思いますが、中川先生の市民参加の森づくりは「人づくりはまず胃袋から…」との説には大賛成です。パームクーヘンを協働作業で作ったり、燻製、焼き豚、ピザ…いろいろな事例を紹介していただき、山菜やきのこしか思い浮かばない私にとっては、とても興味深い話題でした。「雪がとけたら是非やってみたい!」「美味しいものも食べたい!」、会場が暗くてみなさんの表情まで見えませんでした、多くの方がそう思われたに違いありません。新しい森づくりの視点で、より参加者が増えればと思いました。

次に、今年の6月1日（土）から植樹がはじまる当別道民の森「Fの森プロジェクト」の活動報告がありました。報告は講師を務めてくださった、「NPO法人もりねっと北海道（旭川市）」の山本牧さん。あすもりサポーター通信で進行状況をお知らせしてきましたが、今回参加した助成団体のみなさんの中には初めて聞かれた方も多はず! 交流会の参加者アンケートでも、「森の復元と人づくり」「地図を作り上げたことはすごい」「経過報告が楽しみ」など、いろいろなご意見をいただきました。プロジェクトに参加したメンバーたちが一番『わくわく楽しい』時間を過ごした「Fの森」、今年の植樹がとても楽しみです。



会場の「Fの森」展示コーナー



第二部は各会場での分散交流会でした。札幌会場では新しい試みとして、中川先生のお話をうけて、『市民参加型の森づくり活動』についてのワークショップで交流しました。各テーブルメンバーが主催団体となり、イベントを企画するという設定です。

参加者は、あらかじめ用意された団体名から、まず活動のイメージをふくらませます。次にイベントを企画し、役割分担を考え、参加募集ポスターをつくって発表しました。発表後、中川先生に「あすもり賞」を選んでいただき、2団体に賞品が贈られました。

受賞した2団体をご紹介します。『北海道環境楽団』の考えたイベントは「森の音がし♪」。30年後の「Fの森」を想定しています。風の声、水の声、いきものの声。森の中にある、いろんな音を集めてセッションをしよう! がテーマです。森の音集め、森の音を聴く、森のクラブ（飲んで食べる）の3本立てで行う魅力的な内容です。

『森の恵みがうまいっしょの会』で行うのは、「〇(マル)ごと味わう森盛りレストラン」です。「きのこ・山菜除外」という事務局からの条件付きに戸惑いましたが、鹿肉、ヤマメ、樹液、果実酒などが勢ぞろい。果実採取や間伐体験付きで恵みを探し味わう企画で、バーベキューの熱源は間伐で出た薪を使います。

市民参加をテーマにした今年の交流会は、私たちがいかに自然と親しみ、子どもたちに北海道の自然を手渡していけるかを楽しみながら考える機会になったと思います。

札幌会場以外の各地区の状況は、次号でお知らせさせていただきます。ふれあい企画の活動状況は、同封の「サポーター通信地区版」をご覧ください。



## 空知森林サポーターの会

活動拠点 / 滝川市

空知森づくりセンター主催の「森林サポーター研修」を受講した有志が集まって、2007年に同会が発足しました。会員は空知総振興局エリアに住む60歳～80歳代の10名で、行事のたびに滝川市、砂川市、芦別市、新十津川町、栗山町から会員が集まります。

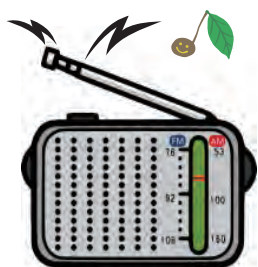
主な活動拠点は滝川市江部乙にある道有林「交流の森」です。カラマツの採種園だったエリアを市民が親しめる森に再生しようと、植樹、苗木の育成や下刈り、保育などを行っています。なかでも力を注いでいるのは自然の楽しみ方や森づくりの知識技術を、次世代を伝えること。子ども対象の森林教室で自然観察の知識を伝えたり、森の手入れ作業で出る端材を原料にしたウッド・コースターや巣箱づくりなど、子どもたちの「森を育てて使う活動」をサポートしています。このほか、森に隣接する養護老人ホームの入居者に春の息吹を感じてもらおう「交流の森 森林浴」、地域住民対象の「きのこのほだ木づくり体験」や「炭焼き体験」なども開催。参加者のほだ木を養生管理するのも重要な活動のひとつで、森に親しみ、使うことの大切さを広めることに役立っています。



ホームページ <http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srs/sapota.htm>

Air-Gで放送中!、過去番組を視聴できます。

### 「コープさっぽろ プレゼンツ スマートライフ～あの人の話が聞きたい～」



FMラジオ

毎週日曜日の朝7時30分～7時55分、AIR-G'(FM北海道ラジオ)で、「スマートライフ～あの人の話が聞きたい～」という、コープさっぽろ提供の番組が放送されています。

スマートライフとは、自分らしく賢く暮らすこと。自らを失わず、持続可能な暮らしを営むこと。笑顔を忘れず、優しい気持ちを持ち続けること。環境、子育て、食、地域貢献など、さまざまなジャンルのオピニオン・リーダーへのインタビューを放送しています。

放送日時 毎週日曜日7時30分～7時55分

番組名 AIR-G'(エフエム北海道)

「コープさっぽろプレゼンツ スマートライフ～あの人の話が聞きたい～」

周波数 FM 80.4MHz

この番組の過去の録音がホームページでも公開されることになりました。昨年10月には、コープ未来の森づくり基金の運営委員長でもある、北海道大学農学部の柿澤宏昭教授がゲスト出演しました。森が身近にある北海道の魅力。その身近な森の魅力に触れること、森を使うことの大切さ。どうしたら市民が森に参加できるのか…そんなお話を優しい口調で語ってくださっています。また、2月3日には第3回北海道の森づくり交流会で講演していただいた中川重年教授へのインタビューが放送される予定です。

#### ●過去の録音を聞くには

番組ホームページ <http://www.air-g.co.jp/sl/>

AIR-G'(エフエム北海道)の番組ホームページで「ON AIR 過去の放送」をクリックすると、過去の番組一覧が出てきます。

「オンエアは、ここをクリック」をクリックすると、放送が始まります。放送は2つのファイルに分かれています。上から順にお聴きください。

#### 2012年10月21日放送分

ゲスト: 柿澤 宏昭さん。

北海道大学農学部教授。コープ未来(あした)の森づくり基金運営委員会委員長。

#### 2013年 2月 3日放送分

ゲスト: 中川 重年さん。

京都学園大学バイオ環境学部教授。第3回北海道の森づくり交流会特別講演「森づくりへの参加のデザインの事例と実践」講師。

あすもりの基金のFacebookページやAir-Gの番組ページから、放送をお聴きいただける予定です。ぜひ、お聴きください。

あすもりのドングリマークを真ん中に入れたQRコードが出来ました。



携帯電話などのバーコードリーダーで撮影すると、あすもりのFacebookページを開くことができます。

<https://www.facebook.com/coop.asumori>

## 森の本

毎号1冊、森づくりに関するおすすめの本を紹介します。

### 「北海道樹木図鑑」

著者: 佐藤孝夫氏  
発行元: 亜璃西社



佐藤さんは長年、北海道林業試験場に勤務された方で、豊富な知識と写真の量は圧巻です。初めての方や山や野原を歩く時にハンディ版をという方にもおすすめの1冊。2011年に、318種のタネの写真を加えた増補版が出ています。亜璃西社の本では他に、北海道きのこ図鑑、北海道山菜図鑑もあります。